

# 明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	シェフィールド大学オンラインプログラム
所 属	理工学部 建築学科 2年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300字程度)	
<p>このプログラム全体を通して、大きく二つの成果を得られたと思う。一つ目は自分の意見を積極的に発信していくことの重要性である。日本の大学のほとんどの授業と違って、このプログラムの授業では積極的にディスカッションに参加することが求められ、初めの内は不慣れなこともあり難しく感じたが、慣れてくるとそれがとても楽しく感じ、自分の考えをもっと表現していきたいと思うようになった。二つ目は実践的な英語の能力である。実際に英語で生活している人と英語を学ぶことが出来るので、日本で今まで学んできたような試験のための英語ではなく実際にコミュニケーションをとるための実践的な英語を学ぶことが出来たと思う。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300字程度)	
<p>授業以外のアクティビティを通してイギリスの文化や自然について理解を深めることが出来た。今まで日本で生活していてイギリスのそういった情報に触れる機会はほとんどなかったため初めて知ったことがたくさんあり、参加して良かったと感じた。特にイギリスの演劇についてのレクチャーは印象に残っていて、それまではほとんど興味のなかった内容であったがこれをきっかけにもっと知りたいと思った。単に英語について学ぶだけではなくこういった異国の文化や自然について様々な国の人と学ぶことが出来るというのはこのプログラムに参加する大きな一つの利点なのではないかと思う。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300字程度)	
<p>オンラインで行う一番のメリットは、資料の共有が簡単に出来る点であると思う。授業の中ではプレゼンテーションをしたり先生が解説のスライドを共有したりする場面が多く、そういったときに瞬時に必要な資料を共有でき、授業を非常にスムーズに進めることができて良いと感じた。一方で良くないと感じたのは、やはり実際に同じ空間に居ないということだと思う。もちろん声が聞こえて顔が見えれば最低限のコミュニケーションは可能であるが、同じ空間を共有しながらしているわけではないのでどうしても授業に参加しているような感覚が充分に持てず残念に感じた。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300字程度)	
<p>このプログラムを通して、海外のアクティブな授業や実践的な英語に少しは慣れることが出来たと思うので、まずは今年度の秋学期と来年度の春学期に参加する協定留学の中でこの経験を最大限に活かせるようにしたい。大学卒業後の進路についてはまだ具体的には考えていないが、このプログラムを通して、英語圏の国の人たちと関わることが出来るような仕事に対する興味は強くなったように感じる。またイギリスの文化や自然はとても魅力的であると感じたので、その中でもイギリスとの繋がりがあるものについて、より興味を持つようになったと思う。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	